

未来志創

よっしゃ！顔晴ろう！

昨日の国語の時間に、廊下でプリントをチェックしていると、「机の上に置いた水筒のお話」が聞こえてきました。私が通っていた大学でも、講義中に机の上にペットボトルを置いている人がいて注意を受けていた光景を思い出しました。自分にとっては何気ないことでも、周囲からしたら“非常識”と思われることがあります。気をつけたいですね。

同じ物体だけれども、実は全然違うものになる

子どものころ、駄菓子屋ではブーメランのオモチャが売られていました。

当時、『秘密戦隊ゴレンジャー』のミドレンジャーがこれを武器として使っていたせい、子どもたちの間ではブーメランは武器として認識されていましたが、本当は、ブーメランは武器じゃありません。

「く」の字型で、投げるとクルクルと回転しながら円を描いて戻ってきます。有名なのは、オーストラリアのアボリジニが使っていたもの。当初は狩りの道具と考えられていましたが、実際には遊具の一種として使われていたようです。

しかし、駄菓子屋で売られていたものは、プラスチック製のちゃちな作りで、飛ばしても風の影響を受けて、なかなか期待したようには手元に戻ってきませんでした。

木製の少し高価なものを購入すると、しっかりとした重みがあるせいで、ちゃんと手元に戻ってきます。これが楽しくて、何度も何度も投げて遊びました。練習すればするほど、きれいな弧を描いて手元に戻ってくるようになりました。

訓練を重ねるごとに、ブーメランは確実に手元に戻ってきます。自分なりの法則を見つけ出し、力を込めて投げたものが、弧を描いて返ってくる現象は楽しいものです。

単純な遊びですが、**何度も練習するうちに学んだこと**があります。それは、**ブーメランは投げなければ手元に戻ってくることはない**、という当たり前のこと。

手元にあるんだからそのまま投げないでいけばいい。そう考えてしまえば、ブーメランは空中を飛ぶことなく、手の中にあるままです。安全なまま、しかし宙を切って弧を描く醍醐味も知らず、何も生み出さずに手の中に残っています。

やりたいことがあったら、まず投げてみることです。

そのうちに**空気を巻き込み、揚力を手に入れるコツ**を身につけるはず。キャッチする喜びや、ワクワクするような気分を連れて、ブーメランは戻ってきます。

これって、**何かに似ていませんか？** あなたなら、ブーメランを何にたとえますか？ どこかに**投資したお金？ 誰かに向けた親切？ がんばった勉強？ 思いきって働きかけたコミュニケーション？**

投げる前のブーメランと、一度投げて戻ってきたブーメラン。**空を切って広い空間を飛んだ経験値のぶん、同じ物体だけれども、実は全然違うもの**になるのです。

『一天地六の法則』（カカトコリ）より

昨日の夜、寝る前に「今日できたこと（頑張ったこと）は何か？」と自分に問いかけましたか。合唱練習が本格化してきました。また、校外学習に向けてGSS（学年生徒会）は放課後残って目標や約束事を話し合っていて決めています。テストが返却されはじめて、復習を頑張っている人もいますね。部活動が再開されて、目標に向かって一生懸命練習する姿もみられます。「今日は全然ダメだった」という日もあるかもしれませんが、そんな一日の中にも、必ず「頑張ってみたこと」はあるはず。日々経験値を増やしている皆さんですから、昨日とは違う自分になっていますよ！